

平成20年度後学期 学生による授業評価アンケート調査 (最終)  
「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏名	三富 紀敬			
講義コード	2279153010		講義名	社会政策 I			
開講曜日	土曜日	9・10 時限	専門科目				
授業回数	13回	休講回数	1回	補講回数	0回	受講登録者数	124人
成績評価に際し注意した事項							
出席回数、期末試験で授業内容の基本的な理解が行われているかどうか							
報告内容							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. いずれも高い満足度が示される。「授業を受けて知識・技術が身についた」(81.9%)である。「反応を確かめ講義」(86.1%)、「主題は明確」(79.2%)、「質問に応じる姿勢」(86.1%)、「雰囲気を保つ」(83.3%)などの効果であろうか。但し、「板書の読みやすさ」(44.4%)と低い評価であり、改善が必要である。もとより自由記述に「板書でも文章で示してほしい」との意見が寄せられているが、これは、不可能ではないかと考える。いずれにせよ板書の改善を行うために、学生に意見を今一度丁寧に把握した上で、具体的な改善方法を提示したいと思う。</li> <li>2. 就業経験を持つ学生の熱心な聴講には、教員として大いに励ましを受けた。質問を実に的確かつ活発にする学生もおり、授業全体の雰囲気を保つ上でも効果的であったと感謝している。</li> <li>3. 登録学生の内、出席者は半数を下回る。140頁ほどの『講義録』は、120冊以上配布されている。出席を重視したことから、可以上の評価を受けた学生は、66人に止まる。授業に出なくて最終試験で合格点を貰えるほどの授業ではないことを理解いただきたいと思う。</li> <li>4. 2009年度後期には社会政策 I I を開講する予定である。皆さんの勤労を踏まえた、又、若々しい発想に接しながら講義に臨みたいと改めて心する今日この頃である。</li> <li>5. 毎日、研究室に出向いていますので、質問などお出で下さい。</li> </ol>							